

# 新たな水田複合経営の確立

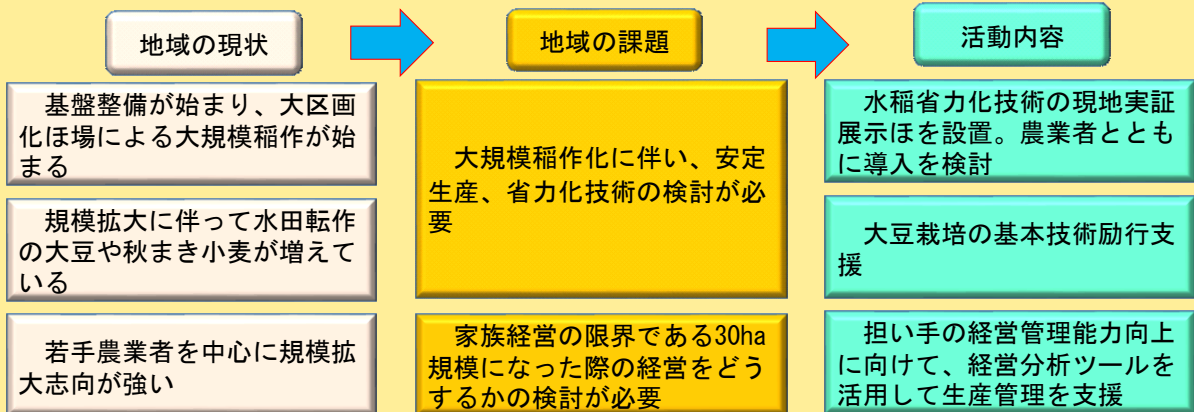
～ 古き知恵、新しい技術、女性も子供も活躍できる地域づくり Part2 ～

対象：雨竜町中島地区（10戸）

## 1 活動の背景

### 中島地区の概要

経営形態：水稲を主体とし、メロン等の園芸作物との複合経営  
 経営規模：平均25.5ha、水稲作付面積は平均22.4ha  
 経営主年齢：平均51.1歳。若手経営者と後継者が比較的多い地域



## 2 活動の経過

### 具体的推進事項：農作物の安定生産と省力化



### 具体的推進事項：担い手の経営管理能力向上



### 3 成果の具体的内容

#### 具体的推進事項：農作物の安定生産と省力化

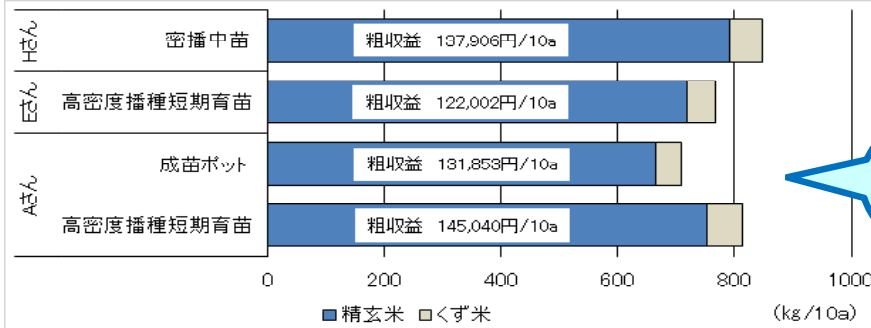
##### 水稻の省力化技術の定着

1戸が移植から高密度播種に全面変更、2戸が作付けの一部を高密度播種に切り替え、目標の3戸を達成した。



Hさんのコメント

目標を上回る収量を確保できた。  
育苗ハウスや育苗箱の数が減って、管理や移植が楽になったよ。



慣行の成苗ポット移植と同等以上の収量を確保

図1 各栽培の収量調査結果と粗収益

##### 大豆の基本栽培技術の励行

大豆を作付けした2戸は「栽植密度」「追肥の適正判断」「マメシンクイガの適期防除」などの基本技術を概ね実施。干ばつによる生育不安もあったが、10a当たり収量は地域平均を上回ることができた。

Iさんのコメント

アドバイスどおりにしたら、去年より雑草が少なくなったよ。

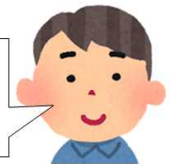


表1 大豆の基本技術改善実施項目と収量

実施項目	は種		除草対応	追肥の判断	適期害虫防除	適期収穫	収量 (kg/10a)	備考
	は種深度 (cm)	栽植密度 (本/m <sup>2</sup> )						
目標	2~3	C:16.6~25 I:25~30	土壌処理の実施	開花期頃の根粒菌着生での適正判断	マメシンクイガ適期防除 (フェロモントラップの活用)	子実水分 20%以下	(地域平均 95kg/10a)	
Cさん	○	○	○	○	○	○	245	
Iさん	×	○	△	○	○	○	132	狭畦栽培

基本技術実施で目標収量確保

#### 具体的推進事項：担い手の経営管理能力向上

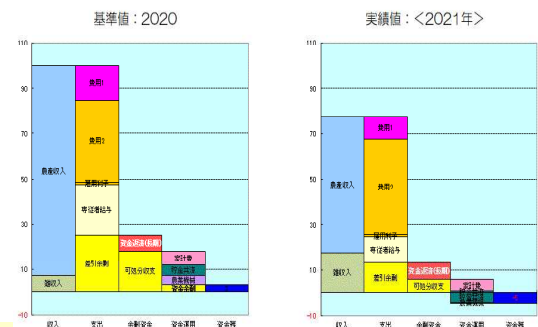
クミカン見える化ツールで重点農家個々の分析を行い、令和3年産の米価下落の影響をわかりやすく示すことができ、経営改善の意識向上につながった。

メロンほ場巡回研修会、ハウス自動換気システム視察研修会については、夫婦や親子での参加があり、世代間や夫婦間での情報共有を図ることができた。

#### クミカン見える化ツール

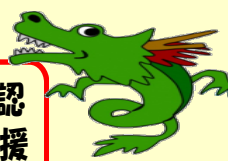
中央農試の支援を受けた

資金収支② (基準値を100)



### 4 今後の課題と対応

省力化技術導入による経営変化の確認  
基盤整備後の施肥設計支援



ICT技術導入・活用の支援  
経営管理能力向上

古き知恵 新しい技術 女性 も子供 も活躍できる地域づくり